

# コンパクトクールキット（シリンダーヘッド下）取扱説明書

製品番号	07-07-0461（4フィン）
	07-07-0462（3フィン）

適応車種	スーパーカブ110（JA44-1000001～）
適応条件	ノーマルシリンダーヘッド装着車

オイルクーラーマウント位置  
：シリンダーヘッド下

この度は、弊社製品をお買い上げ頂きまして有り難うございます。  
使用の際には下記事項を遵守頂きますようお願い致します。取り付け前には、必ずキット内容をお確かめ下さい。  
万一お気付きの点がございましたら、お買い上げ頂いた販売店にご相談下さい。

◎イラスト、写真などの記載内容が本パーツと異なる場合があります。予めご了承下さい。

## ☆ご使用前に必ずお読み下さい☆

- ◎取扱説明書に書かれている指示を無視した使用により事故や損害が発生した場合、弊社は賠償の責を一切負いかねます。
- ◎当製品を取り付け使用し、当製品以外の部品に不具合が発生しても当製品以外の部品の保証は、どのような事柄でも一切負いかねます。
- ◎当製品を加工等された場合は、保証の対象にはなりません。
- ◎他社製品との組み合わせのお問い合わせはご遠慮下さい。
- ◎当製品は、上記適応車種の車両専用用品です。他の車両には取り付け出来ませんのでご注意ください。
- ◎製品には、エッジや突起がある場合があります。必ず作業手袋を着用し作業を行って下さい。  
（説明書内で作業手袋未着用の写真がある場合でも、作業時は作業手袋等を着用して下さい。）
- ◎オイル量は通常規定オイル量に4フィン：約60cc、3フィン：約40cc追加して下さい。
- ◎当製品を取り付けるにあたりフロントフェンダーの加工が必要になります。
- ◎オイルフィルターは純正品と異なります。オイルフィルター交換時は必ず弊社製の製品をご使用下さい。
- ◎悪路や段差やオフロード走行には使用しないで下さい。部品の破損や重大な事故に繋がる恐れがあります。
- ◎ノーマルマフラー 又弊社製マフラー装着されている事が条件になります。
- ◎コンパクトクールキットをご購入の方へ、当製品取扱説明書はコンパクトクールキットの内容と重複する内容が含まれます。  
コンパクトクールキットの取扱説明書に従い組み付けを行って下さい。
- ◎SP 武川製アルミ削り出しローハイトヘッドカバーボルトと同時装着する事は出来ません。予めご了承下さい。

## ～特徴～

- シリンダーヘッドカバーに専用のオイルクーラステーを装着する事でコンパクトクールを装着する事が可能になります。  
又、ステーは腐食に強いステンレス製を採用しています。
- 冷却効果に優れたコンパクトクールを取り付ける事で、エンジンポアアップに伴う油温上昇を抑える事が出来ます。
- コンパクトクール本体は、オイルクーラープレート、ガードを標準装備。
- 専用のオイルフィルターカバーによるオイル取り出し口を利用したオイルクーラーキットです。
- コンパクトクールは3フィン/4フィン仕様を採用しています。
- 純正フィルターと同様リリーフバルブ機構を備え、さらにネオジウムマグネットを設置していますのでエンジンオイルに混ざった鉄粉を吸い寄せます。

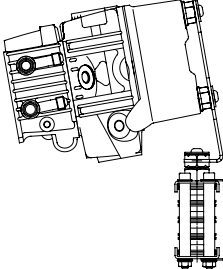
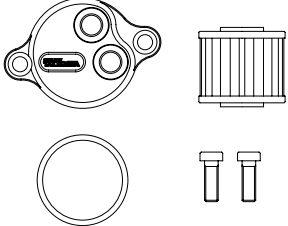
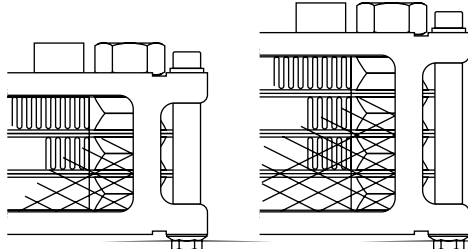
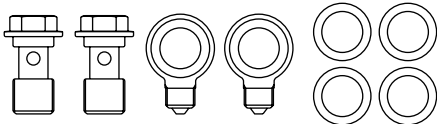
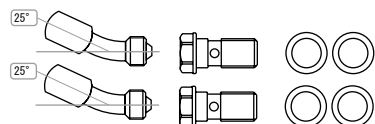
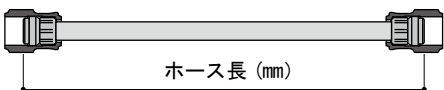
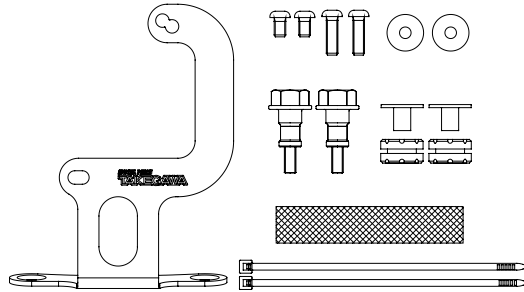
**注意** この表示を無視した取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容及び物的損害が想定される内容を示しています。

- 作業を行う際は、必ず冷間時（エンジン及びマフラーが冷えている時）に行ってください。（火傷の原因となります。）
- 作業を行う際は、その作業に適した工具を用意して行って下さい。（部品の破損、ケガの原因となります。）
- 規定トルクは、必ずトルクレンチを使用し、確実に作業を行ってください。（ボルト及びナットの破損、脱落の原因となります。）
- 製品及びフレームには、エッジや突起がある場合があります。作業時は、作業手袋等を着用し手を保護して作業を行ってください。  
（ケガの原因となります。）
- 走行前は、必ず各部を点検し、ネジ部等の緩みが無いかを確認し緩みが有れば規定トルクで確実に増し締めを行ってください。  
（部品の脱落の原因となります。）
- ガスケット、パッキン類は、必ず新品部品を使用して下さい。又、再使用する部品については、よく点検し摩耗や損傷がある場合は、必ず新品部品と交換して下さい。
- 走行前には必ずエンジンオイルが循環している事を確認してから走行して下さい。（エンジン損傷の原因となります。）

**警告** この表示を無視した取り扱いをすると人が死亡、重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

- エンジンを回転させる場合は、必ず換気の良い場所で行ってください。密閉した様な場所では、エンジンを始動させないで下さい。  
（一酸化炭素中毒になる恐れがあります。）
- 走行中、異常が発生した場合は、直ちに車両を安全な場所に停止させ、走行を中止して下さい。（事故につながる恐れがあります。）
- 作業を行う際は、水平な場所で車両を安定させ安全に作業を行ってください。（作業中に車両が倒れてケガをする恐れがあります。）
- 点検、整備は、取扱説明書又は、サービスマニュアル等の点検方法、要領を守り、正しく行って下さい。  
（不適当な点検整備は、事故につながる恐れがあります。）
- 点検、整備等を行った際、損傷部品が見つければ、その部品を再使用する事は避け損傷部品の交換を行ってください。（事故につながる恐れがあります。）

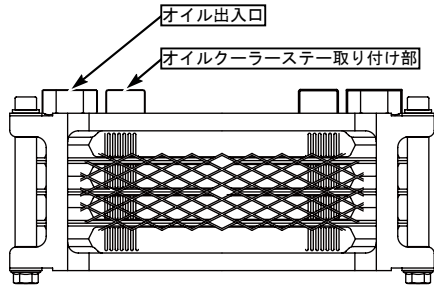
- ◎性能アップ、デザイン変更、コストアップ等で製品及び価格は予告無く変更されます。予めご了承下さい。
- ◎クレームについては、材料及び加工に欠陥があると認められた製品に対してのみ、お買い上げ後1ヶ月以内を限度として、修理又は交換させて頂きます。  
但し、正しい取り付けや、使用方法など守られていない場合は、この限りではありません。修理又は交換等にかかる一切の費用は対象となりません。  
なお、レース等でご使用の場合はいかなる場合もクレームは一切お受け致しません。予めご了承下さい。
- ◎この取扱説明書は、当製品を破棄されるまで保管下さいますようお願い致します。

	<p>製品内容：部品の詳細は各キットの説明書、及び製品ラベルでご確認下さい。</p>	
<p>オイルクーラー取付け場所：シリンダーヘッド下マウント</p>		
<p>製品名 / キット品番</p>		
<p>コンパクトクーラーキット (スリムライン) ノーマルシリンダーヘッド装着車 (オイルクーラーユニットオイル取り出し) 3フィン 07-07-0462    4フィン 07-07-0463</p>		
<p>オイル取り出し口</p>	 <p>オイルクーラーユニット (07-07-0268)</p>	
<p>オイルクーラー本体</p>	 <p>コンパクトクーラー 3フィン (00-07-0124)    コンパクトクーラー 4フィン (00-07-0104)</p>	
<p>バンジョー フィッティング (オイルクーラー側)</p>	 <p>バンジョーセット (M12/スリムライン用) (00-07-0135)</p>	
<p>バンジョー フィッティング (取り出し口側)</p>	 <p>フィッティングアダプターセット (25° / スリムライン) (00-07-0150)</p>	
<p>ホース (ホース長)</p>	 <p>ホース長 (mm)</p> <p>スリムラインホース 250mm (00-07-0109) スリムラインホース 380mm (00-07-0114)</p>	
<p>ステーセット</p>	 <p>オイルクーラーステーキット (07-07-0459)</p>	

■対象製品 コンパクトクールキット シリンダーヘッド下マウント

■オイルクーラー本体  
オイル出入口の方向と組み付け

■オイルクーラーのオイル出入口の方向を確認  
下図のようにオイルクーラーステー取り付け部  
とオイル出入口が上になっているか確認しま  
す。(弊社出荷時は下図の様になっています)



■バンジョー、バンジョーボルトの組み付け  
オイルクーラー本体のオイル出入口に下図 A の  
順(シーリングワッシャ、バンジョー、シー  
リングワッシャ、バンジョーボルト)で仮止めし  
ます。

⚠注意 オイル出入口にはズレ防止用の溝があり  
ます。(下図 B) この溝にシーリングワッシャ  
を確実に収めて下さい。  
溝に収めていない状態で、組み付けるとオ  
イル漏れの原因となります。

図 A

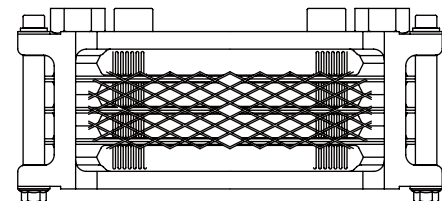
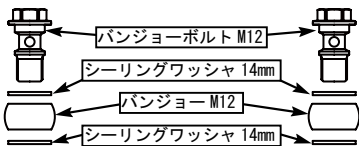
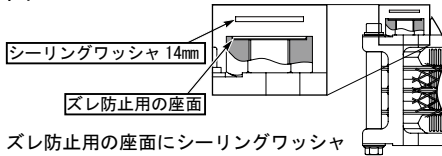


図 B (座面断面図)



ズレ防止用の座面にシーリングワッシャ  
を確実に収める

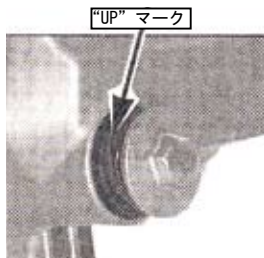
■バンジョーボルトのトルク締めについて  
オイル取り出し口とホースを接続し、ホースの  
取り回し確定後に規定トルク締めを行います。  
バンジョーボルト締め付け時は、必ずオイルクー  
ラーヘッダーにスパナ等を掛けて締め付けて下  
さい。

⚠注意：必ず規定トルクを守る事。  
バンジョーボルト M12  
トルク：22.5N・m (2.3kgf・m)

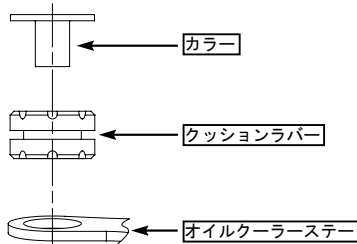
■オイルクーラーステーとオイルクーラー本体の組み付け

- 車両を安定させた状態で取り付けを行います。
  - レッグカバーを取り外します。
  - オイル受けを準備しシリンダーヘッドカバー  
ボルトを取り外します。
  - 油分を拭き取りのマウティンググラバー (OIL  
シール)UP マークが上に来ている状態を確認し  
ヘッドカバーボルト COMP. を使用し数回に分け  
規定トルクで固定します。
- ※写真はスーパーカブ 110 です。

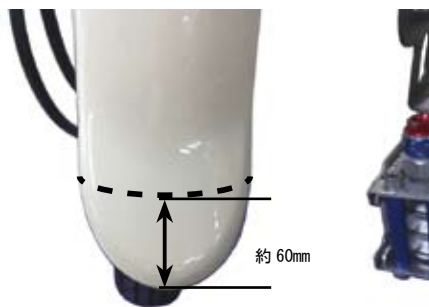
⚠注意：必ず規定トルクを守る事。  
ヘッドカバーボルト  
トルク：12N・m (1.2kgf・m)



■図を参考にオイルクーラーステーにクッション  
ラバーを嵌め、カラーを配置します。

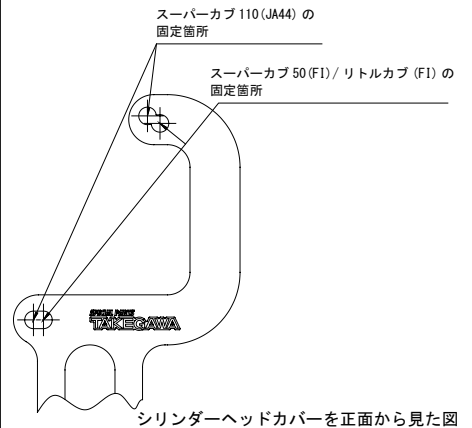


■フロントフェンダーのリップ部の干渉部を  
カットし、ステーと干渉しない様に加工します。  
※カッター等を使用する場合は手袋等をして十分  
注意作業を行って下さい。



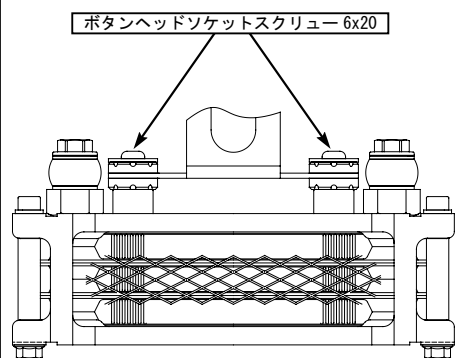
■オイルクーラーステーの穴位置は、図を参考に  
それぞれの車両に合った箇所ボタンヘッド  
スクリュー 6x10 にブレンワッシャ 6mm を  
通し、ヘッドカバーボルト COMP. をスパナで  
固定します。ボタンヘッドスクリュー 6x10 を  
規定トルクで締め付けます。

⚠注意：必ず規定トルクを守る事。  
ボタンヘッドスクリュー 6x10  
トルク：10N・m (1.0kgf・m)



■図を参考にボタンヘッドソケットスクリュー  
6x20 を用いてオイルクーラーを規定トルクで  
固定します。

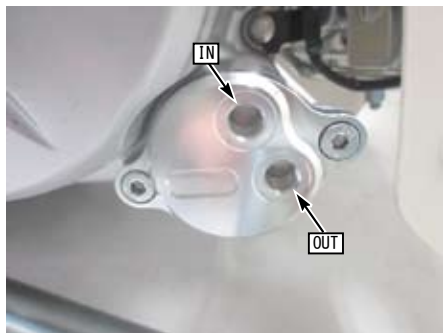
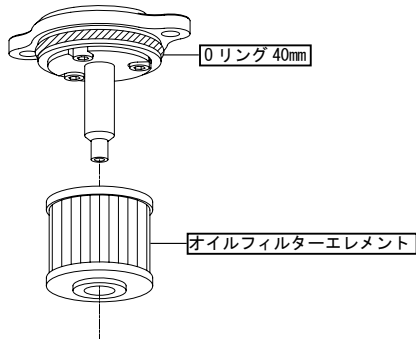
⚠注意：必ず規定トルクを守る事。  
ボタンヘッドソケットスクリュー 6x20  
トルク：10N・m (1.0kgf・m)



■対象製品 コンパクトクールキット (スリムラインホース)

■オイルクーラーユニットの組み付け

- 純正部品の取り外し
- 車両を安定させた状態にします。
- ボルト 2 本を取り外し、オイルフィルターカバーを取り外します。
- ※オイルが漏れるのでオイル受けを用意します。
- 純正のオイルフィルタースプリング、オイルフィルターエレメントを取り外します。
- ※純正品のオイルフィルタースプリングとオイルフィルターエレメントは再利用しません。
- オイルクーラーユニット COMP. に O リング 40mm を取り付け、オイルフィルターエレメントを差し込みます。  
(オイルフィルターエレメントは裏表どちらの向きでも構いません。)
- ※オイルのにじみ等の原因となる為、ケース内に残っているオイル及び O リング当たり面のオイルを拭き取して下さい。



- O リング 40mm に薄くオイルを塗布し、低頭 6 角穴付ボルト 2 本を用いてオイルクーラーユニット COMP. を R. クランクケースカバーに取り付けて下さい。

▲注意：必ず規定トルクを守る事。

低頭 6 角穴付ボルト  
トルク：10N・m (1.0kgf・m)

▲注意：O リングは分解毎に必ず新品と交換して下さい。  
(再使用した場合、オイル漏れ等によるトラブルの原因となります。)

■バンジョーボルト / バンジョーの組み付け

- ホースの取り回しが出来たらオイルクーラーユニット COMP. にバンジョー M10 (25°) を内側に向けアルミシーリングワッシャ 10mm で挟み、バンジョーボルト A M10x1.25 で締め付けます。
- ※エンジン始動後はオイルクーラーやオイルクーラーユニット等が高温になりますので十分注意して下さい。

▲注意：必ず規定トルクを守る事。  
バンジョーボルト A M10x1.25  
トルク：15N・m (1.5kgf・m)



■スリムラインホースの組み付け

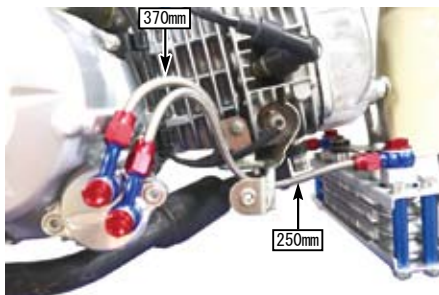
- オイルクーラー本体とオイル取り出し口をスリムラインホースで接続します。
- 取り付けるマフラーを仮付けします。
- オイルクーラーユニット側  
オイルホース 250mm をオイルクーラーユニットの下側に、オイルホース 370mm を上側に取り付け、締め付けます。
- オイルクーラー側  
オイルホース 250mm をオイルクーラーの右側に、オイルホース 370mm を左側に取り付け、締め付けます。
- ※一度レッグカバーとマフラーがホースと干渉しないかチェックし、干渉する場合はクッション及び結束バンドを使用し干渉しない様にして下さい。

▲注意：必ず規定トルクを守る事。  
スリムラインホース (フィッティング)  
トルク：6N・m (0.6kgf・m)

- バンジョー M12 の向きを調整し、バンジョーボルト M12x1.0 を締め付けます。

▲注意 バンジョーボルト締め付け時は、必ずオイルクーラーヘッダーにスパナ等を掛けて締め付けて下さい。

▲注意：必ず規定トルクを守る事。  
バンジョーボルト M12  
トルク：22.5N・m (2.3kgf・m)



■マフラーを取り付けオイル量の調整

- マフラーを取り外した場合は、サービスマニュアル又は取り付けしているマフラーの取扱説明書に従い組付けを行います。
- 取り外した外装を逆手順で組み戻します。
- オイル量の調整とエンジン始動  
○3フィン 40cc/4フィン 60cc 程度エンジンオイルを追加し、エンジンを始動します。
- 各部にオイル漏れが無い事を確認しエンジンを止め、約 1 分後オイルレベルゲージで基準範囲内にあるかを確認します。少ない場合は補充します。

